

2-2-7 第7分科会「障がい者の地域生活 ～余暇支援を通して～」

担当者 今野和夫 受講学生 15名

活動概要： 障がいのある方たちは、地域で生きがいのある生活を送るには、自由に参加できる余暇活動の充実が不可欠です。しかし、障がいのある方には移動の困難や活動内容の困難さからこうした活動に積極的に参加できないというのも現状です。

このような方々が地域の中で充実した余暇活動ができるように支援しているボランティア団体が多くあります。こうしたボランティア団体を訪問し、実際に活動を見学体験したり、関係者の方たちにインタビューをしたりして、余暇支援について学びました。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 障がいについて知識は浅いけれども、これから活動を通して視野を広げていけたらいいと考えています。まずはやることを決めて、テーマに対していろんな観点から見たいと思います。（11月4日の感想より）
- 秋田には障がい者を支援する団体がたくさんあることを知りました。私は子どもの余暇活動について調べることになったので、積極的に色々と調べていきたいと思えます。（11月11日の感想より）
- 実際にボランティアに参加してみて得られた情報や行ってみての自分の感じたことなどをまとめたり、今後参加するボランティアの確認や、実際のボランティアの現場でどのようなことをするばいいのか確認をした。（12月2日の感想より）
- 余暇活動についてみんなに分かりやすいような発表をすることはとても難しいと思った。ちゃんと興味を持って聞いてもらえるように工夫していけたらいいな、と考えた。（1月20日の感想より）